

# EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 2000098903  
PUBLICATION DATE : 07-04-00

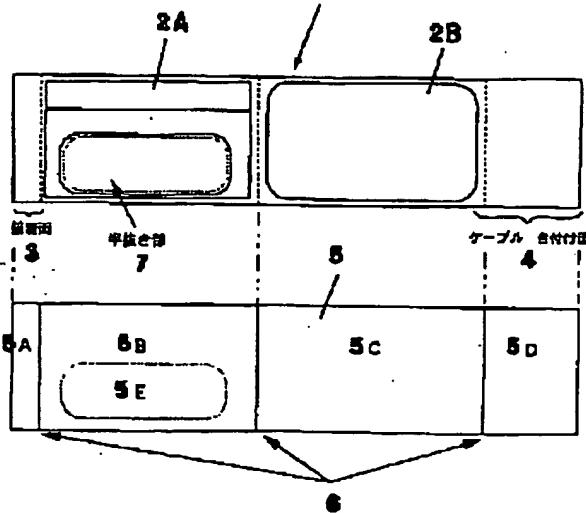
APPLICATION DATE : 24-09-98  
APPLICATION NUMBER : 10270365

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD;

INVENTOR : TAKEDA SHIGEKI;

INT.CL. : G09F 3/06 H02G 1/06

TITLE : DISPLAY LABEL BODY



**ABSTRACT :** PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a display label body for a conductive cable which is excellent in workability and is advantageous in terms of a production cost.

**SOLUTION:** The display label body to be wound and affixed to the conductive cable is formed by laminating protective release sheets 5 on the rear surface of the label body 1 having two segmented printing surfaces 2A and 2B on the front surface. The protective release sheets 5 are discretely peelably and dividedly arranged respectively in correspondence to the cable winding surfaces 4 and adhesive surfaces 3 at both ends on the longitudinal direction of the label body 1 on the rear surface thereof as well as the two segmented printing surfaces 2A and 2B existing between both surfaces. The two segmented printing surfaces 2A and 2B of the label body 1 have the size at which the rear surfaces overlap on each other when bent. One thereof is provided with a writable half blanking part 7.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-98903

(P2000-98903A)

(43) 公開日 平成12年4月7日(2000.4.7)

(51) Int.Cl.

G 09 F 3/06

H 02 G 1/06

識別記号

501

F I

G 09 F 3/06

H 02 G 1/06

マーク(参考)

501A

審査請求 未請求 請求項の数1 ①L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-270365

(22) 出願日 平成10年9月24日(1998.9.24)

(71) 出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72) 発明者 逢坂 健次

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工  
株式会社内

(72) 発明者 野田 洋典

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工  
株式会社内

(72) 発明者 武田 茂樹

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工  
株式会社内

(74) 代理人 100093230

弁理士 西澤 利夫

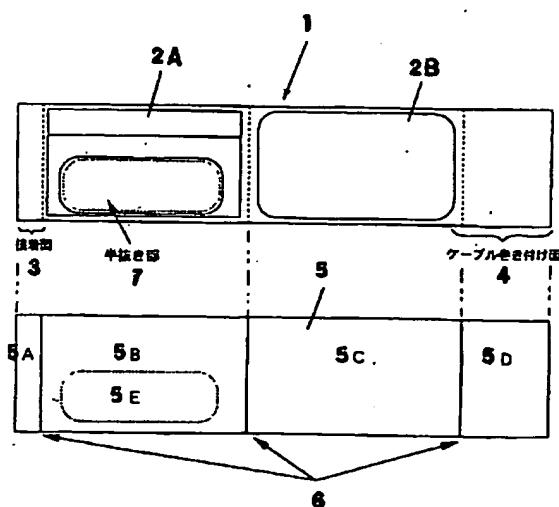
(54) 【発明の名称】 表示ラベル体

(57) 【要約】

【課題】 作業性に優れているとともに、製造コスト面においても有利な新しい導電ケーブル用の表示ラベル体を提供する。

【解決手段】 導電ケーブルに巻き付け貼着するための表示ラベル体であって、表面に2分画された印刷面(2A)(2B)を有するラベル本体(1)の裏面には保護剥離シート(5)が積層されており、保護剥離シート(5)は、ラベル本体(1)の裏面において、その長さ方向の両端部のケーブル巻き付け面(4)と接着面(3)、並びにこの両面の間にある前記2分画された印刷面(2A)(2B)の裏面の各々に対応して個別に剥離可能に分割配置されているとともに、ラベル本体

(1)の2分画された印刷面(2A)(2B)は、折曲げられた際に裏面が相互に重なり合う大きさを持ち、かつ、その一方には、書き込み可能な半抜き部(7)が設けられているものとする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 導電ケーブルに巻き付け貼着するための表示ラベル体であって、表面に2分画された印刷面を有するラベル本体の裏面には保護剥離シートが積層されており、保護剥離シートは、ラベル本体の裏面において、その長さ方向の両端部のケーブル巻き付け面と接着面、並びにこの両面の間にある前記2分画された印刷面の裏面の各々に対応して個別に剥離可能に分割配置されるとともに、ラベル本体の2分画された印刷面は折曲げられた際に裏面が相互に重なり合う大きさを持ち、かつ、その一方には、書き込み可能な半抜き部が設けられていることを特徴とする表示ラベル体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この出願の発明は、表示ラベル体に関するものである。さらに詳しくは、この出願の発明は、屋根面への太陽電池配設にともなう屋内への導電ケーブルの引込み施工時等において有用な、作業性に優れ、しかもコスト面においても有利な、新しい導電ケーブル施工用の表示ラベル体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、各種の配線工事においては、導電ケーブルの切断と結線にともなう配線仕様を明示するための表示ラベルが用いられている。これらの表示ラベルは、所要の導電ケーブルに巻き付け貼着されて使用されている。

【0003】このような表示ラベルのための従来のラベル体としては、たとえば図5に示したように、ラベル本体(1)の両面に印刷面(2)を設け、またラベル本体(1)の片面に接着面(3)とケーブル巻き付け面(4)とを設け、接着面(3)とケーブル巻き付け面(4)とには保護剥離シートの配設等によってシール性を持たせたものが知られている。このような表示ラベル体の場合には、たとえば端部のケーブル巻き付け面(4)においてケーブルに巻き付け、接着面(3)をこのケーブル巻き付け面(4)に貼着するようにしている。

【0004】また、図6のような重ね合わせ方式による表示ラベル体も知られている。この場合のラベル本体(1)には、印刷面(2)とケーブル巻き付け面(4)とが設けられており、その裏面の全体が、もしくは印刷面(2)の裏面が接着面(2)として機能し、この接着面(2)には、保護剥離シート(5)が積層されている。ケーブルへの巻き付け時には、印刷面(2)の裏面の接着面(2)が相互に接着されることになる。

【0005】図7は、この図6の場合の表示ラベル体を例示したものであって、印刷面(2)には、たとえば系統番号記入欄や警告文が配設されるようになっている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、図5に

示した従来例の表示ラベルの場合には、ケーブルへの巻き付け後に、接着面(2)の保護剥離シートを剥がしての接着作業が必要となるため、作業が煩わしく、また、両面印刷で、しかも端部にのみ保護剥離シート等によるシール性を持たせることから、どうしてもその製造工程数が多くなりコスト高になるという問題があった。

【0007】一方、図6および図7に示した従来例の場合には、片面印刷であって、しかも裏面全体に保護剥離シートを積層することから製造工程は比較的簡単であってコスト面において図5の例のものより良好であり、また、ケーブルへの巻き付けとほぼ同時に印刷面(2)裏面の接着面(2)の相互接着が行われるため、この点での作業性は改善されている。しかしながら、他方で、2つの印刷面(2)の裏面接着面(3)をできるだけピッタリと合わせることが必要となるため作業性は必ずしも改善されたとは言えないのが実情であった。

【0008】しかもまた、従来のいずれの表示ラベル体の場合にも、一度ケーブルに巻き付けてしまうと、配線作業においてケーブルを改めて切断して結線するような場合には機敏に対応することができないという問題があった。この点においても作業性の改善が求められていた。そこで、この出願の発明は、以上のような従来の表示ラベル体の問題点を解消し、作業性に優れているとともに、製造コスト面においても有利な新しい導電ケーブル用の表示ラベル体を提供することを課題としている。

【0009】

【課題を解決するための手段】この出願の発明は、以上のとおりの課題を解決するものとして、導電ケーブルに巻き付け貼着するための表示ラベル体であって、表面に2分画された印刷面を有するラベル本体の裏面には保護剥離シートが積層されており、保護剥離シートは、ラベル本体の裏面において、その長さ方向の両端部のケーブル巻き付け面と接着面、並びにこの両面の間にある前記2分画された印刷面の裏面の各々に対応して個別に剥離可能に分割配置されているとともに、ラベル本体の2分画された印刷面は折曲げられた際に裏面が相互に重なり合う大きさを持ち、かつ、その一方には、書き込み可能な半抜き部が設けられていることを特徴とする表示ラベル体を提供する。

【0010】

【発明の実施の形態】この出願の発明は以上のとおりの特徴を有するものであるが、以下に実施例を示し、さらに詳しく実施の形態について説明する。

【0011】

【実施例】添付した図面の図1は、この発明の表示ラベル体を例示した正面図と背面図である。たとえばこの図1に例示したように、この発明の導電ケーブルに巻き付け貼着するための表示ラベル体は、表面に2分画された印刷面(2A)(2B)を有し、ラベル本体(1)の裏面には保護剥離シート(5)が積層されている。保護剥

離シート(5)は、ラベル本体(1)の裏面において、その長さ方向の両端部のケーブル巻き付け面(4)と接着面(3)、並びにこの両面の間にある前記2分画された印刷面(2A)(2B)の裏面の各々に対応してカット位置(6)において切離され個別に剥離可能に分割配置されている。

【0012】すなわち、保護剥離シート(5)は、図1に示したように、接着面(3)、印刷面(2A)の裏面、印刷面(2B)の裏面、そしてケーブル巻き付け面(4)の各々にシート(5A)(5B)(5C)(5D)として貼着されている。そして、図2にも示したように、ラベル本体(1)の2分画された印刷面(2A)(2B)は、折曲げられた際に裏面が相互に重なり合う大きさを持ち、かつ、その一方には、具体的には図1においては印刷面(2A)に、書き込み可能な半抜き部(7)が設けられている。

【0013】そして半抜き部(7)の裏面にも分割された保護剥離シート(5E)が積層されている。また、表示ラベル体のラベル本体(1)の裏面全体は、貼着可能なように接着層を有している。たとえば以上の表示ラベル体を作業中に使用する場合には、作業は次の手順となる。

<1>印刷面(2A)(2B)の裏面の分割された保護剥離シート(5B)(5C)を剥がし、相互に貼り合わせる。

<2>接着面(3)およびケーブル巻き付け面(4)上の分割された保護剥離シート(5A)(5D)を剥がし、図2に示したように、導電ケーブル(10)に巻き付け、接着面(3)を、巻き付け面(4)の表側に貼着する。

【0014】以上の構成と使用態様から明らかなように、この発明の表示ラベル体の場合には、ラベル本体(1)の印刷面(2A)(2B)は、ラベル本体(1)をケーブル(10)に巻き付ける以前にあらかじめ折曲げて相互の裏面を合わせることができるため、ケーブルへの巻き付け後に裏面を合わせる従来の図6および図7の例の場合に比べてはるかに作業が簡単である。そして、ケーブル(10)への巻き付け貼着の作業も、巻き付けと接着面(3)による貼着がほぼ同時に行われるため簡単な作業となる。

【0015】しかもまた、この発明の表示ラベル体の場合には、印刷は片面のみであり、裏面への保護剥離シート(5)の積層や、カット位置(6)の形成も一回の工程として可能となるため、安価に製造可能となる。図3は、この発明の表示ラベル体の表面側を示したものである。印刷面(2A)には系統番号記入欄が設けられ、また印刷面(2B)には警告文が印刷されている。もちろん、この例に限定されることはない。

【0016】そしてさらにこの発明の表示ラベル体において特徴的なことは、図3にも示したように、書き込み可

能な半抜き部(7)が設けられていることである。この半抜き部(7)は、系統番号等を書込んでラベル本体(1)より剥がし、ケーブルの他の部位に貼着することができる。このことは重要な効果をもたらす。【0017】たとえば太陽電池の配線施工を例として説明する。図4は、屋根面への太陽電池(20)を配設した場合の導電ケーブルの配設を例示したものであるが、瓦等としての太陽電池(20)モジュールの取付位置や、屋根形状、屋根下地(30)から屋内側への引き込み孔の位置等によって、ケーブル(10)の必要長さや屋根下地(30)裏側の隠れ長さが異ってくる。このため通常は、安全を見て両端に接続端子(40)が設けられた長い導電ケーブル(10)の引込み側の端部に、この発明の表示ラベル体から保護剥離シートを剥がしたラベル本体(1)を巻き付け貼着する。

【0018】しかし、その後、必要長さにケーブル(10)を切断することがある。たとえば図4においては位置: $\alpha$ において切断がある。このような場合には引込み側端部のラベル本体(1)も同時に切り離してしまうことになる。そこで、このような作業場面では、前記の半抜き部(7)をラベル本体(1)より剥がして、切断後に使用する側のケーブル(10)端部、たとえば図4の位置: $\beta$ に再度貼着する。このようにして、半抜き部(7)は、実作業において重要な役割を果たすことになる。

【0019】なお当然のことであるが、作業によってはこの半抜き部(7)は剥がさないで、ラベル本体(1)と一緒にケーブルに巻き付け貼着してもよい。そして、半抜き部(7)だけが書き込み可能である必要はなく、ラベル本体(1)の印刷面(2A)(2B)が素材として表面書き込み可能なものとされていてもよいのである。

【0020】もちろん、この出願の発明は、以上の例によって限定されるものではない。細部の態様において様々に可能である。

【0021】

【発明の効果】以上詳しく述べたとおり、この出願の発明によって、作業性に優れているとともに、製造コストにおいても有利な新しい導電ケーブル用の表示ラベル体を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】発明の実施例としての表示ラベル体を例示した正面図と背面図である。

【図2】ケーブルへの巻き付けを説明した斜視図である。

【図3】表示ラベル体の表面側を例示した正面図である。

【図4】屋根面への太陽電池の配設を例としたラベル本体の貼着と半抜き部の貼着を説明した図である。

【図5】従来の両面印刷ラベルを示した概要図である。

ATTACHMENT I

(4) 開2000-98903 (P2000-989P5)

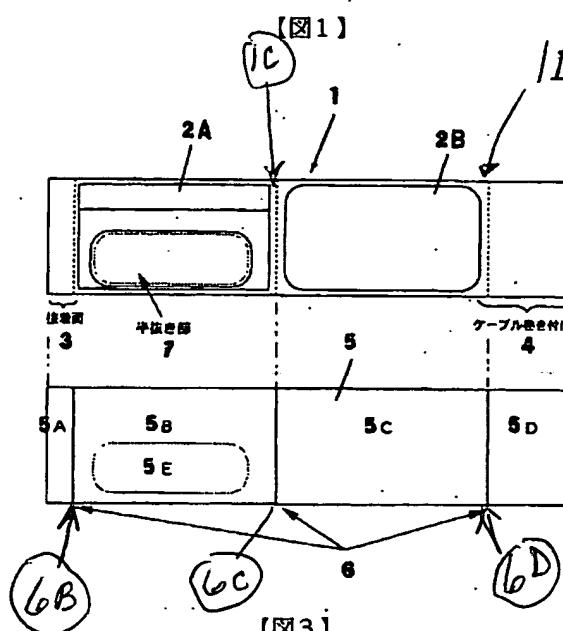
【図6】従来の片面印刷ラベルを示した概要図である。  
【図7】図6の例の表側を例示した正面図である。

【符号の説明】

- 1 ラベル本体
- 2 印刷面
- 2A, 2B 印刷面
- 3 接着面
- 4 ケーブル巻き付け面
- 5 保護剥離シート

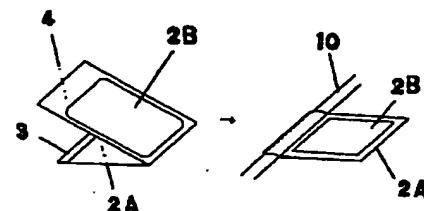
5A, 5B, 5C, 5D, 5E 分割された保護剥離シート

- 6 カット位置
- 7 半抜き部
- 10 導電ケーブル
- 20 太陽電池
- 30 屋根下地
- 40 接続端子



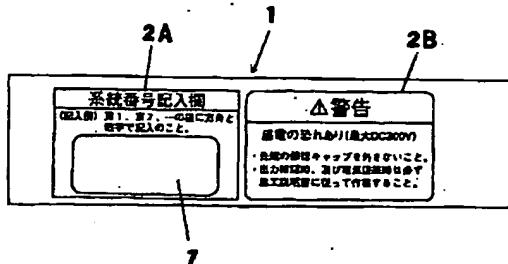
【図1】

【図2】

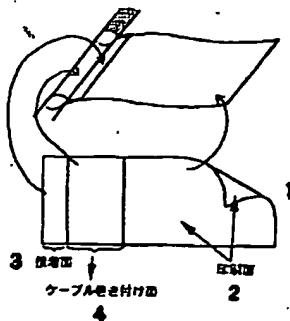
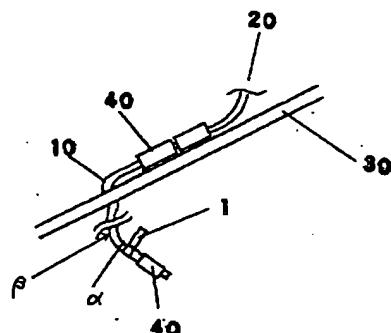


【図3】

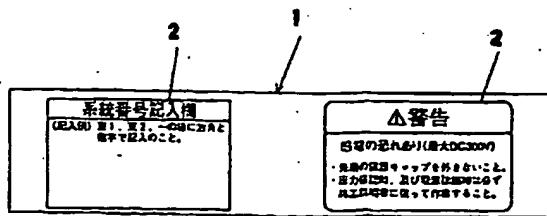
【図4】



【図5】



【図7】



(5) 開2000-98903 (P2000-9895

【図6】

